

日本 MOT 学会 2014 年 2 月度セミナーのご案内

(日本 MOT 学会 & JATES 共催 // JAIST 協賛)

日本 MOT 学会

副会長 企画委員長 中田 章

(社) 科学技術と経済の会 (JATES) 常務理事 太田 健一郎

北陸先端科学技術大学院大学 教授 井川 康夫

MOT に関心をお持ちの皆さんには日頃から多大のご支援をいただきありがとうございます。

今般、講師 中田 行彦氏に講演をいただくこととなりました。

下記のとおりご案内いたしますので皆様のご参加をお待ちしております。

演題：「ものづくり崩壊：「シャープ危機」の深層」

日時：2014 年 2 月 17 日 (月) 19:00-21:00

場所：北陸先端科学技術大学院大学 先端領域社会人教育院 (東京サテライト) Room C-D-E

〒108-6019 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 Tel : 03-5460-0831

交通アクセス：JR 品川駅「港南口」斜め前の「品川インターシティ A 棟 (楕円形ビル) 19 階

詳細は右サイトを参照ください。 <http://www.jaist.ac.jp/satellite/sate/access/index.html>

主な論点：

日本の半導体、液晶、太陽電池もシェアが急落し、日本の「ものづくり」の競争力は低下してきている。日本の家電産業でも、シャープ、パナソニック、ソニーの 3 社ともに苦境に立っている。その中でも、シャープは、数年前までは液晶事業で「勝ち組」といわれていたのに、会社存亡の危機に陥っている。

なぜ日本は液晶ディスプレイで韓国、台湾に追い抜かれたのか？なぜシャープは「亀山工場」で成功できたのか？なぜ堺工場で危機に陥ったのか？復活する道はあるか？日本のものづくりを復活する道は？

これらの論点は、「日本のものづくりの復活」につながるヒントになると思っている。講師は、シャープで液晶の研究・開発に携わり、液晶産業を研究している。これらの成果を基に上記の論点を論じる。

講師 中田 行彦 氏の経歴：

立命館アジア太平洋大学 教授 (技術経営担当)

71 年神戸大学大学院卒 92 年工学博士(大阪大学) 09 年博士 (技術経営：立命館大学)

シャープで太陽電池、液晶の研究開発に従事。97~00 年シャープアメリカ研究所研究部長

2000 年シャープ液晶開発本部技師長。2001~04 年液晶先端技術開発センター主幹研究員。

2004 年から現在 立命館アジア太平洋大学教授。2008 年から現在 同大学アジア太平洋イノベーション・マネジメント・センター長。2009 年 10 月~10 年 3 月スタンフォード大学客員教授

参加申し込み方法：

以下の申込フォームよりお申込みください。エントリーはこちらから⇒<http://www.js-mot.org/entry/>

※申込コースを選択、氏名・所属・メールアドレス・所属学会又は JAIST 学生は JAIST をご入力ください。会場が最大 80 名の関係から先着順とさせていただきます。

・エントリーに関する問い合わせ先

日本 MOT 学会 事務局、TEL:03-5937-0249 Fax : 03-3368-2822、E-mail: gakkai@js-mot.org

参加費：日本 MOT 学会員、JATES 会員、日本 MOT 振興協会会員及び JAIST 学生/卒業生は無料。

その他の参加者からは、参加費として 2,000 円を徴収させていただきます。

所属先を明記のうえお申し込みください。 以上